



# 希望ヶ丘

令和3年9月10日（金）

## 「全国学力・学習状況調査」まとめ編

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

5月に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。本校の結果と分析をまとめましたので、結果の分析と考察を保護者の皆様に以下の通り報告いたします。これらを踏まえて、より良い学習指導ができるよう、授業改善に努めてまいります。また、学力の向上には子どもたちの学習習慣や生活習慣の確立も大きく関連しておりますので、ご家庭と学校とが一体となって取り組んでいくことが大切です。今後ともご理解、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

### <全国学力・学習状況調査とは>

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に行われています。

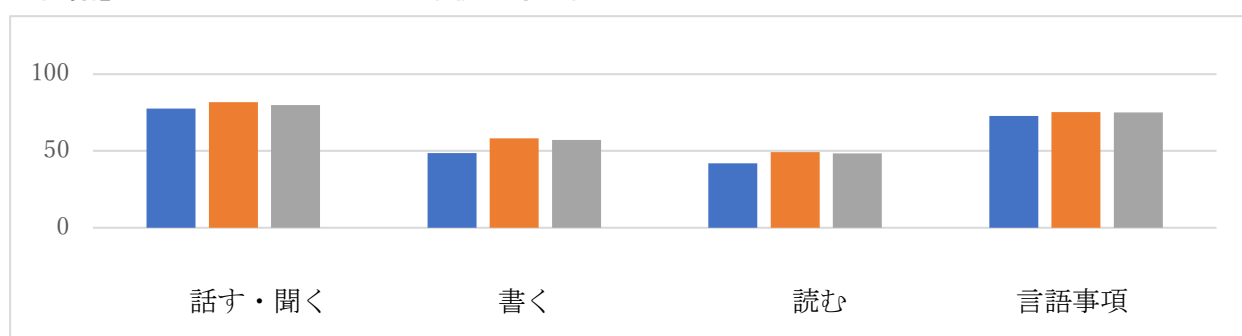
文部科学省や教育委員会が、全国的に児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としております。学校には、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は「教科に関する調査」と、生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科に関する調査」では、知識・技能、思考力・判断力・表現力等は相互に関係しあいながら育成されるものという、新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。

教科に関する調査		質問紙調査
<b>知識に関する問題A</b> 基礎的な知識及び技能に関する内容	<b>活用に関する問題B</b> 基礎的な知識及び技能を活用する思考力・判断力・表現力等に関する内容	主体的に学習に取り組む態度及び学習状況に関する内容

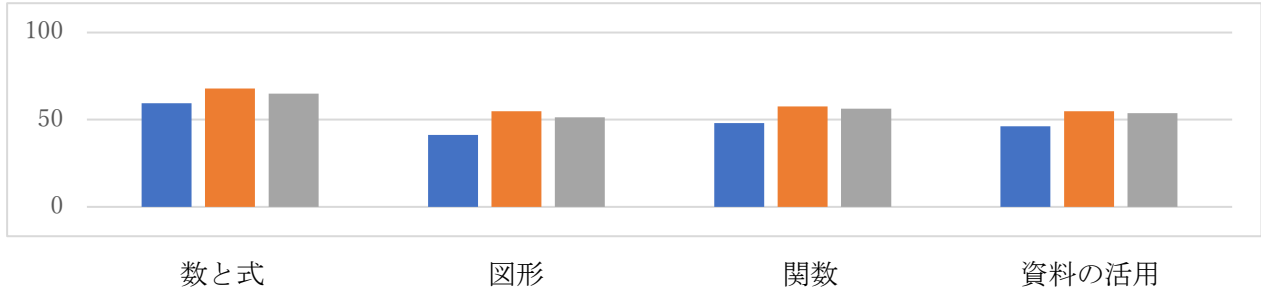
### <本校の調査結果 成果と課題>

「国語」から（グラフは左から本校・県・国）



上のグラフは、国語の領域ごとの正答率を示しています。グラフからわかるように、本校の正答率は、どの領域においても県平均、全国平均を若干下回る正答率となっています。特に文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持ったり、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書いたりする力をつけていくことが課題です。

## 「数学」から（グラフは左から本校・県・国）



上のグラフは、数学の領域ごとの正答率を示しています。本校生徒は、生徒質問紙の回答を分析すると、国語と比較して数学に対する苦手意識を持つ生徒が多いです。数式の加法と減法の計算や、具体的な場面で、一元一次方程式をつくるなどの基礎的な問題は概ね良好な正答率となっている反面、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することやある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだすことに課題が見受けられました。それを数学的に表現するなど応用して表現するような設問にも課題があることが分かりました。

## 「学習状況調査（質問紙調査）」から

### 富士市が目標として掲げた項目との比較

富士市では、家庭と学校とが協力して学力向上に努めていくよう2つの項目について数値目標を設定しています。本校生徒の結果は次の通りです。（当てはまる、どちらかという当てはまるの割合）

- ・自分で計画を立てて勉強している 目標…50%以上 本校…63.7%（+13.7%）
- ・1日30分以上読書をしている 目標…35%以上 本校…22%（-13%）

自分で計画を立てて家庭学習等に取り組むことができます。昨年度から取り組んでいる自主学習帳の効果だと思えます。一方で、読書離れが顕著に見られています。学校では、子どもたちがより自分に合った学習を考えて家庭学習に取り組めるよう、課題の出し方を工夫していきます。ご家庭では、学習や読書の習慣が定着するような「場所」や「時間」等、学びの「環境」を整えていただければと考えます。また、学力に関するこの2項目で、さらに数値が向上できるようにしていきたいと考えます。

### 本校生徒のよいあらわれ - 県・国との比較 - （当てはまる、どちらかという当てはまるの割合）

- ・将来の夢や目標を持っていますか 80.2%（県 70% 国 68.6%）
- ・学校に行くのは楽しいと思えますか 80.5%（県 81.8% 国 81.1%）
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか 76%（県 64.4% 国 43.7%）

### 本校生徒の課題 - 県・国との比較 - （当てはまる、どちらかという当てはまるの割合）

- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 47.4%（県 32.6% 国 32.3%）
- ・自分には、よいところがあると思えますか 70.2%（県 78.9% 国 76.2%）

### <まとめ>

これらの数値から、本校生徒は明るく、楽しく生活ができている様子がうかがえます。特に、学校が楽しく感じられたり、地域とのつながりを確立できたりしていることは、本校重点目標「幸せに気づく生徒」の実現にも結び付けられることだと考えます。

反面、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）などに触れる時間が顕著に長いことは、とても心配なことです。その分、学習に取り組む時間が減少していることが推測されます。また、自己肯定感に関する数値が若干低いという結果となってしまいました。多様性に寄り添い、生徒が自信をもって日々の生活と学習に取り組めるよう、ご家庭と学校とが手を取り合って子どもたちを支えていくことが、子どもたちの幸せにつながると考えます。